

平成20年9月22日(月) 岐阜経済記者クラブ配布資料	
(財)岐阜県産業経済振興センター モノづくりセンター 平工(事業担当)	
電話番号	(058)277-1080
FAX	(058)273-5961

## 事業可能性評価の評価証交付式・懇談会の開催について

(中小企業の皆様のビジネスプラン実現を支援)

財団法人岐阜県産業経済振興センターでは、中小企業の皆様が新規性のある製品、技術等を開発し、創業や新事業の展開を図るために作成した事業計画について、事業の実現可能性を専門家から成る事業可能性評価委員会により評価しています。そして評価結果に基づき、事業の実現に向けた支援を当財団内のモノづくりセンターが中心となって行っています。

今回は7社から評価依頼があり、そのうちの5社について、今年度第1回目の事業可能性評価委員会(委員長:牛込進 株式会社TYK 代表取締役会長)を平成20年9月12日(金)に開催し、事業計画を評価しました。

その結果、5社すべての事業計画がA評価(事業可能性が高い)と評価されましたので、A評価企業に対して下記のとおり評価証を交付します。今後は事業化に向けた課題等について、モノづくりセンターのコーディネーター等が継続的なアドバイスやフォローアップを行い、支援していきます。

また現在、平成20年度 第2回事業可能性評価委員会(平成21年1月開催)への申請を受け付けております。事業可能性評価へのチャレンジをお待ちしております。

### 記

#### 1. A評価企業及び評価事業名 (企業概要等は別紙のとおり)

- (1) 企業名 塩村建工株式会社(岐阜市)  
 事業名 土木・解体工事における廃土分別装置(振動スクリーン)の開発  
 製品の特徴 従来の工法(パワーシャベルスケルトン)と比べ、装置の処理能力が高く、工事期間を1/2に短縮、及び騒音・振動を軽減できる。  
 環境対策面で優れており、街中のビル、マンション工事に適している。
- (2) 企業名 有限会社田中铁工所(高山市)  
 事業名 落雪STOP(らくせつストップ)  
 製品の特徴 本装置は、雪の空洞化をヒントに、雪の下にできる雪のかたまり(氷)をアミの部分に意図的に絡ませて雪の落下を防止するというユニークな構造で、従来の装置に比べ、熱源不要、故障が少ない、取り付けが容易、安価等の特色がある。
- (3) 企業名 株式会社クライムキューブ(大垣市)  
 事業名 ブライダル特化型メディアによる広告事業  
 事業の特色 本事業は、多様化する結婚式の形態を提供するブライダル関連企業を主要スポンサーとする広告事業であり、テレビとインターネット放送の融合の時代における新しいビジネスモデルとしての特色がある。

- (4) 企業名 株式会社宝機材（瑞穂市）  
事業名 LSハイテングレーチングの製造販売  
製品の特徴 LSハイテングレーチングは、SS鋼材で製造した既存のグレーチングに比べ、約2倍の強度がある、重量が約30%軽い、コストを約5%削減できる等の特色がある。
- (5) 企業名 マルイクレイアンドセラミックス株式会社（多治見市）  
事業名 新磁器素材と高密度多重版転写を駆使したオリジナルブランド「TeaChah」 「TeaRoad5000」の販路拡大  
製品の特徴 白色透光性に優れ、軽くて丈夫な新磁器素材と絵柄、文様が精密に描ける等繊細な表現を可能にした高密度多重版転写を活用、更に著名なデザイナーの協力を得て完成した高度なデザイン性を有するオリジナルブランドである。

## 2. 評価証交付式・懇談会の開催

- (1) 場所 財団法人岐阜県産業経済振興センター内  
(岐阜市藪田南5丁目14番53号 県民ふれあい会館10階)
- (2) 期日 平成20年9月30日(火) 10:30~11:30
- (3) 内容  
A評価企業に対する評価証の交付  
理事長との懇談（各企業からの事業説明等）

## 3. 平成20年度 第2回事業可能性評価委員会への申請について

- (1) 申込方法  
評価を希望される方は「事業可能性評価申請書」を岐阜県モノづくりセンターに提出してください。申請書は（財）岐阜県産業経済振興センターのホームページトップページの「センター申請書類」からダウンロードできます。（<http://www.gpc.pref.gifu.jp/>）  
提出先：〒500-8505 岐阜市藪田南5-14-53 県民ふれあい会館10階  
（財）岐阜県産業経済振興センター モノづくりセンター
- (2) 申込締切：平成20年11月30日
- (3) A評価企業への支援策  
A評価企業（事業可能性大）は次のような支援を受けることができます。  
岐阜県信用保証協会による特別保証  
「ベンチャー企業マーケティング・リサーチ事業」の対象企業  
「ミニ経営会議事業」の対象企業  
中小企業基盤整備機構主催「中小企業総合展」への優先的出展  
金融機関、マスコミへの積極的紹介  
モノづくりセンターによる総合的・継続的な事業支援
- (4) 問い合わせ先  
（財）岐阜県産業経済振興センター モノづくりセンター  
〒500-8505 岐阜市藪田南5-14-53 県民ふれあい会館10階  
TEL：058-277-1080 FAX：058-273-5961 E-mail：[sien@gpc.pref.gifu.jp](mailto:sien@gpc.pref.gifu.jp)

## A 企業及び事業の概要（5社）

企 業 名	塩村建工 株式会社（代表者/代表取締役 江崎 雅夫）
所 在 地	〒501-0103 岐阜市一日市場4丁目122-1（電話 / 058-232-0401）
評価対象事業名	土木・解体工事における廃土分別装置（振動スクリーン）の開発
評価できる事項	<p>（1）土木・解体工事の現場において、従来の工法では、パワーシャベルにスケルトンバケツを装着し振るいに掛けて土と石を分別しているが、パワーショベルで振るいに掛けるため騒音・振動が大きい、処理能力が低く長い工事期間を要する等の問題がある。今回開発した装置は、高周波振動による方法を採用しており、振動・騒音を軽減し、工事期間も1 / 2に短縮した。</p> <p>（2）付随効果として、分別の精度の向上により分別した土をそのまま再利用できるようになった。リサイクルの観点からも評価できる。</p>

企 業 名	有限会社 田中鉄工所（代表者/代表取締役 田中 宏知）
所 在 地	〒506-0818 高山市江名子町3200-13（電話 / 0577-32-6375）
評価対象事業名	落雪STOP（らくせつストップ）
評価できる事項	<p>（1）豪雪地域では、軒先やトンネルの出入り口の雪やツララ等のかたまりが落下することによって、ケガや器物の損壊等の問題が起きているが、今回の装置は、雪の空洞化現象（風の流れによって雪が解ける）をヒントに開発されたものであり、従来の熱源を使った装置と比較して、熱源が不要、構造が簡単で故障が少ない、取り付けが容易、平均的な装置で約10万円と安価、等の特色がある。</p> <p>（2）本装置は、安心と安全を求める社会、生活者のニーズに合致しており、県内だけでなく、北陸、東北、北海道等全国の豪雪地域での需要が期待できる。</p>

企 業 名	株式会社 クライムキューブ （代表者／代表取締役 泉野民比古）
所 在 地	〒503-0807 大垣市今宿6丁目52-16 ソフトピアジャパン・ドリームコア506号 （電話 / 0584-77-0631）
評価対象事業名	ブライダル特化型メディアによる広告事業
評価できる事項	<p>（１） 本事業は、多様化する結婚式の形態を提供するハウスイエディング、ホテルその他のブライダル関連企業を主要なスポンサーとする広告事業であり、エンドユーザーである「花嫁」と未来の「花嫁」に対して結婚に関する各種情報を無料で提供するものである（「結婚テレビ」）。情報は、パソコン、携帯及びデジタルテレビの3つのメディアで配信されるが、スポンサー、エンドユーザー双方に大きな潜在需要がある。</p> <p>（２） 当社は、デジタルテレビのポータルサイトである「アクトピラ」の公式コンテンツに選ばれており、2011年のテレビとインターネット放送の融合を契機として今後、結婚以外にも、人のライフサイクルに合わせた広範な事業展開が可能なビジネスモデルである。</p>

企 業 名	株式会社 宝機材 （代表者／代表取締役 浅野 寛榮）
所 在 地	〒501-0222 瑞穂市別府1723-1 （電話 / 058-327-2222）
評価対象事業名	LSハイテングレーチングの製造販売
評価できる事項	<p>（１） 従来のグレーチングは、SS400という規格の鋼材を主部材に用いていたが、鋼材メーカーと共同で開発した高張力鋼（ハイテン鋼）をグレーチングの主部材に用いることによって、強度が約2倍（降伏点比較）、重量が約30%軽い、コストを約5%削減できるグレーチングを開発した。</p> <p>（２） 本製品は、軽量化が図られたことにより輸送コストの削減ができ、結果的に、二酸化炭素の排出量を大幅に削減でき、時代の要請である温暖化ガス削減に貢献できる。</p>

企 業 名	マルイクレイアンドセラミックス 株式会社 (代表者/代表取締役 伊藤 眞一郎)
所 在 地	〒507-0073 多治見市小泉町1丁目88-2 (電話/0572-27-8111)
評価対象事業名	新磁器素材と高密度多重版転写を駆使したオリジナルブランド 「TeaCha」「TeaRoad5000」の販路拡大
評価できる事項	<p>(1) 美濃焼飲食器の出荷は、バブル期をピークに年々減少傾向にあり美濃焼メーカーは売れる商品づくりを模索しているが、今回の新磁器素材は当社が素材メーカーとして長年培ってきた素材設計技術のノウハウを生かしたもので、磁器に求められる性能を備え、また、高度のデザイン性を有し、高品質で、高級感のある製品である。</p> <p>(2) 本事業は、市場、顧客ターゲット、販売目標等が明確で事業可能性が高い。美濃焼の進むべき方向の一つを示すものとしての期待が大きい。</p>